

添付資料 1. 事業内容、事業の成果に関する写真

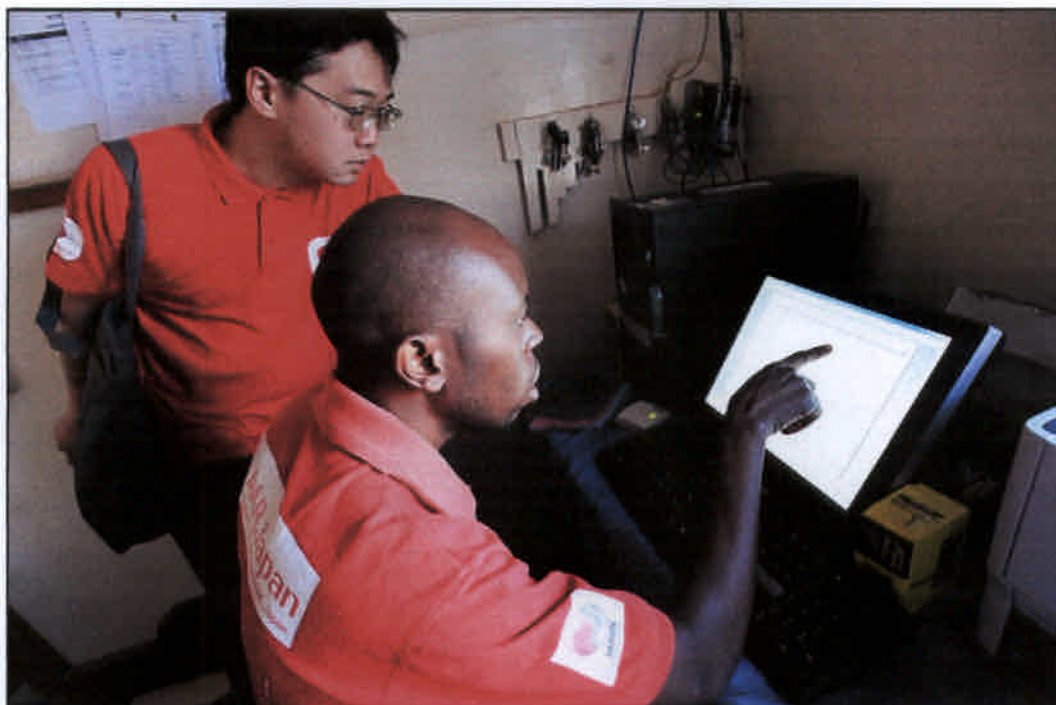


【写真①】 完成したムウェンベシ・クリニック ART センター（2014 年 9 月 17 日 ムウェンベシ）



【写真②】 ムウェンベシ・クリニック ART センターの譲渡式にてテープカットを行う小井沼紀芳駐ザンビア特命全権大使（中央）とワムニワ・ムワナ ルサカ州次官（左）。後ろに立つのは平間亮太駐在員（2014 年 12 月 11 日 ムウェンベシ）





【写真③】 マウントマクル・クリニックにてスマートケア（患者情報管理ソフトウェア）の操作方法を確認する櫻井佑樹駐在員（左奥）と当会現地職員カチュンダ・ムレンガチョンジ（2014 年 5 月 30 日 マウントマクル）



【写真④】 組織運営力向上及び資金調達能力強化研修にて、自ら計画する収入創出活動におけるキャッシュフローについてグループディスカッションをする服薬支援ボランティアたち。左から 2 番目は当会現地職員グリフィン・チカイレ（2014 年 9 月 24 日 ルサカ）



【写真⑤】 マウントマクル・クリニック ART センターのデータルームにて、カルテの出納作業を行う服薬支援ボランティアたち（2014 年 5 月 30 日 マウントマクル）



【写真⑥】 ART 患者およびその親近者向けワークショップで、HIV 感染が判明してからの自身の経験を語る参加者（2014 年 9 月 19 日 ナンゴングウェ）





【写真⑦】 ART 患者およびその親近者向けワークショップにて、服薬中の栄養管理に関して発表する参加者（2014 年 8 月 14 日 ナンゴングウェ）



【写真⑧】 次年度計画策定ワークショップにて、自ら立案した活動計画について発表するウェストウッド小学校エイズ対策クラブのメンバーたち（2014 年 12 月 8 日 ルサカ）





【写真⑨】 エイズ遺児養護施設にて啓発活動を行うムウェンベシ中高等学校エイズ対策クラブのメンバー（2014 年 10 月 23 日 ルサカ）



【写真⑩】 国家 VCT デー（自発的 HIV 検査とカウンセリング [VCT: Voluntary Counselling and Testing] を全国的に呼びかける国家記念日）の前日に、ムウェンベシ中高等学校のエイズ対策クラブメンバー（右から 2 番目）が行った家庭訪問による啓発活動の様子。地域住民に対して VCT を促した。右手前が当会現地職員サロメ・テンボ（2014 年 6 月 29 日 ムウェンベシ）